

2024 年度 日本結晶学会 第 3 回評議員会 議事録

日時：2024 年 11 月 8 日 10:00～12:00

場所：名古屋大学および Zoom によるハイブリッド形式

出席者（途中入退室者含む）※：井上豪^a、植草秀裕^a、海野昌喜^a、大原高志^a、上村みどり^a、久保田佳基（行事幹事）^a、栗栖源嗣^a、小島優子^a、小松一生^a、菅原洋子^a、杉本邦久（庶務幹事）^a、杉山和正（会長）^a、関根あき子^a、玉田太郎^a、藤間祥子（会計幹事）^a、中川敦史（監査役）^a、中塚晃彦^a、禾晃和（監査役）^a、橋爪大輔^a、原田彩佳（男女共同参画幹事）、藤井孝太郎（広報幹事）^a、水牧仁一郎（編集幹事）、宮原郁子^a、森川大輔（情報幹事）、山下恵太郎^a、山本雅貴^a

委任状出席者※：尾関智二^a、坂田修身^a、南後恵理子^a、西堀英治^a、森吉千佳子^a

欠席者※：足立伸一^a、熊坂崇^a、千田俊哉^a

議長：杉山和正^a（会長）

議事録作成者：杉本邦久^a（庶務幹事）

※2024 年度第 3 回評議員会（定数 30 構成員は^aで表記）：

出席 22，委任状出席 5，欠席 3

（五十音順、敬称略）

名古屋大学にて開催した。上記のとおり定足数に足る評議員の出席があったので、議長は定刻に開会を宣し、下記のとおり議事に入った。また、議事録署名人として杉本邦久評議員が選出された。

議事

報告事項

1. 幹事報告

1-1. 庶務幹事報告（杉本庶務幹事）

2024 年 7 月 5 日から 2024 年 11 月 1 日までに 5 名の会員が退会したことを報告し、会員からの申請に基づき推薦した助成金申請の採択状況、会費滞納者の現状、ならびにオンライン入会システム構築の進捗について説明した。

1-2. 会計幹事報告（藤間会計幹事）

2024 年度の執行状況において、一般会計は例年通りの執行状況であることが報告された。2025 年度の予算案に関しては、会員減少により収入が 33 万円減少することが予測されており、対応策として会誌発行費の削減、AsCA2025 会場（台湾）での総会開催費として 10 万円の計上、ならびに郵送費の値上げに伴う請求書送料の追加について説明があった。これに対し、評議員からは、会誌発行費の削減が会誌の発行に影響を与えるのではないかと懸念が示されたが、予算全体を現状ベースで見直したものであり、会誌の発行自体を縮小するものではないこ

とが説明された。

1-3. 編集幹事報告（水牧編集幹事）

発行済みの学会誌 Vol. 65 の 3 号について報告があり、Vol. 65 の 4 号については 12 月 15 日の発行を目指して準備が進んでいる旨が報告された。また、学術著作権協会管理委託契約約款の変更についても説明が行われた。

1-4. 行事幹事報告（久保田行事幹事）

2024 年度に開催された対称性・群論トレーニングコース、「粉末 X 線解析の実際」講習会、オンライン講演会 CrSJ Keynotes、2024 年度年会および日台共同企画、日台シンポジウム、2025 年度以降の年会に関する説明が行われた。

1-5. 情報幹事報告（森川情報幹事）

結晶学会 HP の管理運営状況について、記事の掲載状況とアクセス数の分析が報告された。また、ホームページの改善に向けた取り組みとして、新規会員の獲得を目指し、中高生など非専門家向けのコンテンツを充実させる方針が示された。さらに、若手研究者に向けたキャリアパスに関する情報提供の検討が進められており、スマートフォンでの閲覧性を向上させるためのデザイン変更やコンテンツ配置の見直しも予定されている。加えて、広報委員と連携して SNS を活用した情報発信の具体的な運用方法についても議論が進行中であることが説明された。

1-6. 広報幹事報告（藤井広報幹事）

メール配信に関する報告があり、日本結晶学会の記事を IUCr News Letter に投稿していることが報告された。学会での SNS 運用を開始する方向で検討が進められており、その目的として会員および非会員への広報活動の充実や、学会イベント情報の発信経路の拡大が挙げられた。また、SNS を通じて学会の活発なアクティビティを外部に示すことで、学会の認知度向上を図る意図が説明された。現時点では、X（旧 Twitter）の運用を開始する案が具体化に向けて検討されており、その内容については情報・広報委員会で詳細を詰める予定であることが説明された。

1-7. 男女共同参画推進幹事報告（原田男女共同参画推進幹事）

男女共同参画協会連絡会の活動について報告があり、第 22 期総会および運営委員会への参加状況が説明された。また、2024 年度年会における企画に関する説明も併せて行われた。

2. AsCA 関連（杉本 AsCA 評議員）

AsCA2024 の開催日程や会場について改めて報告が行われた。また、2025 年に予定されている AsCA2025 に関しては、日台の実行委員の構成やポスター、開催日程、会場、参加費などの詳細が紹介された。

3. IUCr 関連（井上日本学術会議結晶学学科会委員長）

2023～2026 年の IUCr Commission の委員について紹介があり、IUCr2023 ま

で活動された委員および IUCr2023 以降に選出された委員に対して謝辞が述べられた。また、World Directory of Crystallographers への登録を奨励する呼びかけが行われた。

4. 日本学術会議関連（井上日本学術会議結晶学分科会委員長）

結晶学分科会では、物質科学や生命科学の基盤となる構造科学を支える博士人材育成の継続的な検討が必要であるとの結論に至ったことが報告された。また、日本結晶学会年会においては、特別講演会とポスターセッションの後援を行い、来年度以降の活動として、持続可能な未来を築くための物質構造と機能に関するシンポジウムの開催に向けた協議が進められていることが説明された。

審議事項

1 会員異動について

入会 70 件は満場一致で認められた。

2 協賛・共催等依頼について

協賛の依頼 1 件について、満場一致で認められた。

3 2024 年度予算について

満場一致で認められた。

4 次期会長（2026・2027 年度）および評議員（2025・2026 年度）候補者推薦の結果について

下記の次期会長（2026・2027 年度）および評議員（2025・2026 年度）候補者推薦の結果について、満場一致で承認された。

4-1. 会員推薦による次期会長及び評議員候補者について

WEB 推薦期間：2024 年 9 月 17 日（火）10：00～10 月 24 日（木）17：00

開票：2024 年 10 月 24 日（金）杉山会長・禾評議員・杉本庶務幹事（オンライン）

有効投票者数：96 名（前年度 127 名）

本会細則第 2 章第 5 条第 2 項に従って、10 票以上の得票者で本人の同意の得られた上位 2 名である井上豪（14 票）、山本雅貴（10 票）を会員推薦時期会長候補とした。また、本会細則第 2 章第 5 条第 5 項に従って、3 票以上の得票者で上位 15 名である海野昌喜（18 票）、尾関智二（13 票）、松村浩由（13 票）、坂井直樹（10 票）、五十嵐教之（10 票）、沼本修孝（9 票）、千田俊哉（9 票）、関根あき子（9 票）、熊坂崇（9 票）、清水敏之（8 票）、中塚晃彦（8 票）、和田啓（8 票）、藤井孝太郎（8 票）、杉本邦久（7 票）、大原高志（7 票）を会員推薦次期評議員候補者とした。次点は、橋本博（7 票）で同得票数あったが、細則に従い年少者を候補者とした。

4-2. 評議員による次期会長候補者・次期評議員候補者の推薦について

評議員推薦による次期度会長候補者・次期評議員候補者の選出のための投票が行われた。

投票方法：Google Forms を利用したオンライン投票

投開票日時：2024 年 11 月 6 日（火）

開票者：杉本庶務幹事

本会細則第 2 章第 5 条第 3 項に従って、評議員による推薦投票を行い、尾関智二（14 票）を評議員推薦次期会長候補者とした。また、本会細則第 2 章第 5 条第 6 項に従って、評議員による推薦投票を行い、河野正規（12 票）、山田悠介（8 票）、青柳忍（8 票）、宮原郁子（5 票）、小島優子（5 票）、星野学（4 票）、尾瀬農之（4 票）、清水伸隆（4 票）、橋本博（4 票）、原田潤（4 票）の 10 名を評議員推薦次期評議員候補者とした。

4-3. 会長推薦による次期評議員候補者について

本会細則第 2 章第 5 条第 7 項に従って、以下の 5 名の次期評議員候補者が会長により推薦された。有馬寛、河口沙織、千田美紀、森川大輔、焼山佑美。

5. 2025 年度国際会議参加助成について

杉本庶務幹事より、2025 年度は国内外の年会開催が予定されていないことから、従来
の通年の国際会議参加助成に加え、AsCA2025 で発表する会員への参加費補助が提案
され、議論の結果、満場一致で承認された。

6. 強制退会の時期の変更について

杉本庶務幹事から、来年度より強制退会の時期を 3 年間から 2 年間に変更することが
提案され、満場一致で承認された。

7. 次回評議員会日程について

杉本庶務幹事より、次回の評議員会は 2025 年 3 月 29 日（土）に東京科学大学の大岡
山キャンパスで行う予定であることが告げられた。詳細は評議員にメール等で告知さ
れる。

以上

上記の決議を確認するため、議事録を作成し、出席した会長、評議員が記名押印する。

2024 年 11 月 18 日
一般社団法人日本結晶学会
評議員会

議長・会長 杉山 和正 印

議事録署名人・評議員 杉本 邦久 印